



なきごえ



1990

7

大阪市
天王寺動物園協会

日本野鳥の会会員 松山 資郎



5月10日からの愛鳥週間には、今年も新聞や放送などで、野鳥のことがいろいろと報じられていました。また各地でそれぞれの催しも盛んに行われたようです。

昭和22年4月10

日、バードデーとして始ったこの催し、昭和25年からはバードウィーク“愛鳥週間”として5月10日から1週間催されるようになりました。

43年前、この催しが始った頃は、野鳥を捕えて、籠に入れて餌をやるのが愛護だと、まじめに考えていた人も多かったようです。

近年、街の中で人が近づいてもキジバトが平気でよちよち歩いていたり、人家近くに住んでいながら、人の姿を見るとさっと逃げていたスズメが、この頃はそれほど人を恐れなくなったような気がします。

庭に餌台をおいて、庭先きでのバードウォッチングを楽しむ人がおられるようになったためか、人家の立てこんだ住宅地で見られる野鳥の種類も数がふえたように思われます。

これは研究したらいろいろの理由があるのですが、ごく単純に考えると、街の中をわが物顔に、横行闊歩していた“空気銃族”がいなくなったからではないでしょうか。

その昔、空気銃といえば特製のものは別でしたが、普通は小指の先き位のコルク玉をつめた子供の玩具程度のもので主だったようです。

それが戦後、空気銃はだんだん精巧なものが造られ、射程距離はのびるし、威力も増してきて、小鳥

なぎごえ7月号もくじ

動物と私 2
“セグロジャッカル” 3
動物園グラフ・動物園日記 4-5
花博と動物たち 6-7
第2陣コアラ到着記 8-9
キーパーズ・アイ 眠りの名手“コアラ” 10
動物園ニュース 11

が殺せるどころか、建物をこわしたり、飼い猫に重傷を負わせたり、ついには、人を殺傷するような恐ろしいものとなりました。

この「空気銃禍」は各方面の方々の御協力で、世論が盛り上がり、人々の野鳥に対する認識もすっかり変わり、法律も改正されたりして、おかげでそれまでの“空気銃族”がいなくなったので、野鳥たちが安心していられるようになったのではないのでしょうか。

ところが、カシミ網はバードデーが始った昭和22年に法律で使用が禁止されたのに、いまだにカシミ網による密猟は根絶されていません。日本野鳥の会の調べによると、今でも毎年数百万羽の大量の野鳥が、無差別に犠牲になっているということです。

半世紀前のあの頃なら小鳥も蛋白源としてということもありましたでしょう。また疲弊していた農山村の現金収入ということも1つの理由でしたでしょうが、今や1網打尽に野鳥を殺す理由にはならないでしょう。

暑い夏がすぎると、やがて北の国から渡り鳥が渡ってくる秋になります。今年こそ渡り鳥が安心して渡って来られるようにしたいものです。

日本野鳥の会では衆・参両院議長さん宛に「カシミ網による野鳥の密猟を根絶するため、カシミ網の一般販売を禁止する等の実効ある法令を制定されるよう請願いたします。」という請願をすることになりました。

こうした大衆運動では数が力なので、各方面にお願いをしております。どうかお1人でも多くの方々に請願書にご署名を頂きたく、本誌をお借りしてお願いを申し上げます。

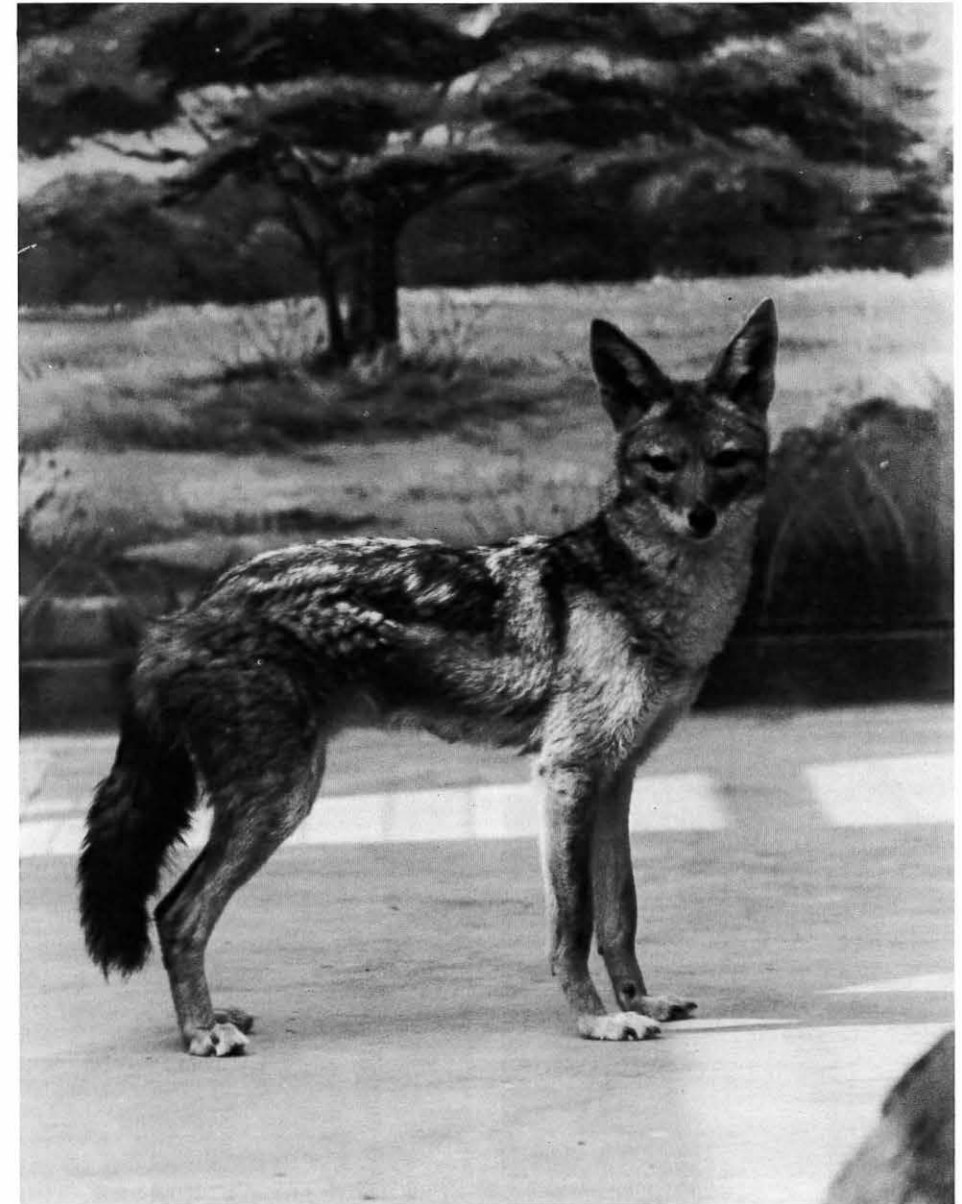
なお、ご署名頂く用紙は下記にお申し込み願います。

〒150 東京都渋谷区渋谷1-1-4
青山フラワービル
日本野鳥の会保護部

表紙の写真説明

“ニホンキジ” (Phasianus versicolor)

我が国の国鳥です。古事記や万葉集、童話の「桃太郎」にも出てくる程、昔から庶民に親しまれています。現在は、狩猟鳥として西ヨーロッパ・アメリカなどに放鳥され、野生化しています。(撮影：森本 委利)



“セグロジャッカル” (Canis mesomelas)

当園に初めてお目見えしました。尖った鼻先、直立した大きな耳、細っそりした足、俊敏な感じが伺えます。新しいオオカミ舎に展示し、人気抜群です!!

(撮影：中川 哲男)

動物園グラフ

なぎごえ26(7),1990

“鳥の巣 あれこれ”

春から初夏にかけては鳥たちのマイホーム造りが盛ん！人の世では地価高騰でマイホーム建設もままならないとか。今回はバードケージ、小鳥の家などの巣を追ってみました。

(撮影：赤松 建、中川 哲男)



今年もシュバシコウが5羽かえりました。親は巣の修復に余念がありません。親は吐き戻し給餌をしてヒナを育てます。



シュバシコウと同じ柳の小枝で作ったコサギの巣、今年もたくさんのコサギがかえりました。



大きな木の又に巣を作ったシュモクドリ(円内)。体の数10倍の巣を作り、横穴から出入りします。



キーパー手作りのオシドリ用の巣箱。素材は魚のト口箱を焼いたもの。見事な出来ばえです。

4・5月の動物園日記

- 4 / 30. カワラヒワを1羽保護しました。
- 5 / 2. 新着コアラ3頭の体重測定を行いました。
- 5 / 4. コウノトリ舎のタンチョウが1羽ふ化しました(4/2産卵分)。
- 5 / 5. ワライカワセミが1羽自然ふ化しました。
- 5 / 6. コウノトリ舎のタンチョウの2羽目がふ化しました(4/5産卵分)。
ムクドリの子を保護しました。
春の動物園まつりが閉幕しました。
- 5 / 7. ツル舎のタンチョウが産卵し抱卵に入りました。

- 5 / 8. 今季4頭目のニホンザルが生まれました。
- 5 / 10. ツル舎のタンチョウが2卵目を産卵しました。
- 5 / 11. 鳥の楽園でウミネコが1羽ふ化しました。
- 5 / 12. キーウイ4羽の体重測定を行いました。
鳥の楽園で4/27以降たくさんシュバシコウがふ化しています。
- 5 / 13. キジ舎でコサンケイが1羽ふ化しました。
小鳥の家でコウカンチョウがふ化しました。
バーバリシープの双子が生まれました。
- 5 / 14. 小鳥の家でカケスが巣作りを始めました。
- 5 / 15. 鳥の楽園でアオサギが1羽ふ化しました。
キジの卵を保護しました。
- 5 / 17. ジャガーが交尾しました。

なぎごえ26(7),1990



小鳥の家のフィンチ類の巣。「つぼ巣」といい、わらを束ね、つぼ状に作られています。



竹笹の繁みに作られたコウカンチョウの巣(円内)。



パンパスタの片わらの地上に営巣中のレア、地面の浅いくぼみに簡単な巣を作ります。



繁殖期に入る前の2月末にヨシズをほぐしたものをに入れてやります。4月～5月にかけて産卵し、抱卵するタンチョウ。

- 5 / 18. サバンナモンキーが1頭生まれました。
- 5 / 19. 5/17隔離したカリフォルニアアシカが自分で冷凍アジを食べるようになりました。
アカカンガルーの赤ちゃんが初めて袋から顔を出しました。
- 5 / 20. アカエリヒレアシシギを1羽保護しました。
第61回動物のお話とスライドの会「動物むかしばなし」を開催しました。
- 5 / 21. フンボルトペンギンが1羽ふ化しました。
- 5 / 22. イワトビペンギンの2羽の換羽がほぼ完了

- 5 / 23. 5/18生まれのサバンナモンキーの赤ちゃんを母親と一緒に展示しました。
- 5 / 24. 国際的な繁殖計画としてシシオザルの雌1頭がワシントン動物園より送られてきました。
- 5 / 25. 新着コアラを一般公開しました。
豊岡市コウノトリ飼育場の職員の方4名が来園見学されました。
- 5 / 26. ハシボソカラスのヒナを1羽保護しました。
- 5 / 27. 5/15保護したキジの卵がふ化しました。
- 5 / 28. 5/13にふ化したコウカンチョウが巣立ちました。

花博と動物たち

なきごえ26(7),1990

1990年4月1日に花の万博が開催されてすでに3ヶ月をすぎ、連日20万を越す人で大賑いです。

6月1日までにすでに800万人もの入場者を数え筑波科学博をはるかに追いぬく勢いです。

この博覧会、正式名称は「国際花と緑の博覧会」(The International Garden and Greenery Exposition, Osaka, Japan, 1990)と呼ばれ、「花と緑と人間生活のかかわりとらえ、21世紀へ向けて潤いのある豊かな社会の創造をめざす」をテーマに大阪市内北東部に位置する鶴見区の鶴見緑地140ヘクタールの会場で183日間の会期で開催されています。当初、予想入場者数は2000万とも3000万とも言われていましたが、心配した観覧乗物の事故の影響もさほど受けず、好調なすべり出しに協会関係者もほっとしているものと思われま。

さて、花博は花と緑をメインにしていますが、確かに会場のあちこちいたるところ、特に山のエリア、野原のエリアは観覧路は言うに及ばず全てが花と緑で埋っており見事なものです。花と緑がこれほどまでにすき間なく展示できるものかただただ驚くばかりです。また植物名の表示も賛否両論はあるものの、学名をカタカナ表示したものが多く(たぶん標準和名のついていないものが多いであろう)、それでも至るところに十分なほど表示され、設営された方のご苦労がうかがえます。

ところで、この素晴らしい花博に協力した国と組織は日本を含め81ヶ国と55の国際機関並びに国内官公庁99ヶ所、企業団体177ヶ所と相当な数にのぼりました。

今回、本稿のテーマになっている「花博と動物たち」ですが、花博に出展している国や組織で動物を飼っている施設を花博協会出展課で調べてもらったところ、大阪市の「咲くやこの花館」、「シャロン館」、「水の館」、「大地の館」(但し熱帯魚)、「三和みどり館」(但し蝶々)、池田市の「Shade Garden Oasis Ikeda」で動物が飼われているのが判りました。

それではこの1つ1つのパビリオンについて簡単にご説明しましょう。

1. 咲くやこの花館

大阪市が誇る日本最大級の温室。延床面積6890㎡の広さに2600種、15000株の植物が8つのゾーンに分かれて展示されています。

熱帯水生植物コーナーには熱帯スイレンやオオニバスが、熱帯雨林植物室にはガジュマルやベンジャミンが、水槽の熱帯水草室にはレース草が、食虫植物コーナーにはおなじみのウツボカズラやモウセンゴケが、熱帯花木室にはトックリヤシやハイビスカスが、サボテン多肉植物室にはキンシャチャやベンケイチュウが、高山植物室には話題を呼んだネパールの青いケシ、メコノプシスが、そして特に低温で管理した極地植物室のガラスケースにはコケ類が……と……各々の展示ゾーンを気候区分に順じて温度、湿度を変え、景観にも工夫を凝らして見事な展示にしています。

咲くやこの花館における動物展示は熱帯花木室からサボテン多肉植物室に移るトンネル内に2m¹×1.5m¹のガラスケースがあり、ここにガジュマルを

植栽し、ディレピスカメレオンが3頭飼育されていました。しかし残念なことは、カメレオンの展示が植物展示ほど見事ではなかったことです。咲くやこの花館の8つのゾーンは各々生物群系(バイオーム)展示に近いもので、各ゾーンに哺乳類や鳥類、爬虫類を飼育展示しても何ら違和感はないと思われ



だけに、カメレオンの植栽にももっと力を入れていただいても良かったように思われました。また、花と緑と鳥という考えから花の蜜に群がるハチドリ、木に巣を造るハタオリドリ、ツリスドリ、或はサボテン多肉植物にトカゲ類、熱帯水生植物にカメなども結構楽しいのではないかと思います。動物による植物の傷み、汚れなどを考慮すれば、この様な形に落ちつくものと思われました。まあ、いずれにしても、地球上の全ての気候区分に分布する植物が数多く展示されているので、植物だけでなく、動物展示や水族展示に興味を持っておられる方は一見の価値があると思われま。

2. シャロン館

外食産業のシャロンインターナショナルが「人、緑、鳥、水が織りなす自然の楽しさ」をテーマに花博会場4000㎡の敷地にバードキングダム、鳥の王国と銘打ち、1400㎡のバードケージとバードショウを行う450㎡の野外ステージ並びにレストランを設けました。

1400㎡のバードケージは6つのゾーンに割り、レア(ホワイト)、フサホロホロチョウなど23種の陸に



棲む鳥、クロエリハクチョウ、レイサンマガモなど30種の水に棲む鳥、ムラサキエボシドリ、キンムネオナガテリムクなど66種の空を飛ぶ鳥、そして5種のオーム類とハクトウワシの計129種、約1000羽の鳥を展示しています。入園者はこのバードケージ内を流れる人工の川をボートに乗ってバードウォッチングを楽しみます。稀少な鳥も多く、色あざやかで目を楽ませてください。難点を言えばいささか狭いように感じました。

花博がはじまって間もなく「鳥の王国」のバードケージで飼っているカユガ(ウエスト・インディアンダック)、オシドリ、ネズミガシラアカツクシガモ

なきごえ26(7),1990

アカボシカルガモ、キンケイなどが産卵し、何とかふ化させていただけないのかと当園に相談をうけ、動物保護と花博協力の立場から数10卵をお預りし、10数羽をふ化させお返しいたしました。また、レンジャクバトが営巣しているのも見掛けました。

さて、シャロン館ではバードケージのほか、大型オウムを中心



をバードショウを行っています。トレーナーは元ミス・フロリダでシャロン館で行われているバードショウトレーナーは美人のティファニー・トンプソンさん。美人で独身のティファニー・トンプソンさん。調教は仲々大したもの、今回この雑誌「なきごえ」の取材のため、非番にもかかわらずわざわざひととりのショウを私達に見せてくれました。使用したオウムはベニコングウインコとルリコングウインコ、キバタン、オオキボウシインコで、打ち鳴らす金属製のクラッカーの音をサインにご褒美のピーナツで、大車輪、バスケット、算数、隠し物探し、自転車綱渡り、輪投げ、ジープ運転など20種近くの芸を12羽のオウムが見せてくれました。芸を忘れないためトレーニングは2~3日に1回必ず反復して行い確認させるそうです。現在使用中のものは5~6才位で、1つの芸は3~6ヶ月で教え込むそうです。

3. 水の館

「水の館」パビリオンは入口両脇にプール様の池をたたえ、建物正面のガラス壁には水を流し、名のとおり涼やかな感じを与えています。このパビリオンには国内園芸企業や団体からのミニ庭園の屋内出展のほか、海外からのミニ出展や物産販売コーナーがあります。水の館パビリオンの中で動物を飼育展示しているのはシンガポール、マダガスカル、セー

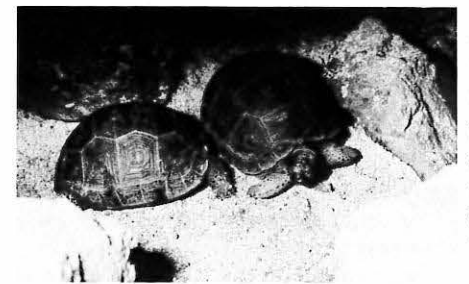


シュールの3ヶ国で、シンガポールコーナーではジュロンバードパークからの提供協力参加しており、中型ケージにサンジャク、キンイロキンケイ、オシドリ、キュウカンチョウを展示し、マミチャジナイ、アカハラシキチョウを籠飼いで展示しておりました。ジュロンバードパークからはマイケルさんとおっしゃる飼育係がつめており、シャロンと同様、4月末から5月にかけて産卵したオシドリ

とキンケイの卵をふ化させることが出来ないので当園に卵を寄付されました。

マダガスカルのコーナーでは物産販売コーナーの片わらの階段下にクロキツネザルが飼育されておりました。狭いところですが花博がはじまって間もなくの4月下旬に赤ちゃんが1頭生まれ、元気に育っているのを見ました。

セーシュールのコーナーでは甲長20cm弱のアルダブラゾウガメ2頭が物産販売の一隅で展示されていました。砂のまわりを焼丸太で囲み、ゴルフネットで覆われた直径1mほどの粗末な飼育場ですが、何し



ろ高価で稀少な動物です。何とか無事に会期が終るまで頑張って長生きしてほしいものと祈らずにおれませんでした。

4. 三和みどり館

最上階は18m×25mのアイマックスシステムのド迫力映像館ですが、2階は15種、500頭の蝶が飛びかう展示場です。会期中絶えることなく十分な量の蝶が飛翔するようにバックヤードとして奈良県生駒山に蝶の産卵羽化場を建設し、ここから会場へ補充しているそうです。蝶の国(展示場)には各種の蝶が好む植物を植栽し、蝶のレストランには蜂蜜と砂糖で作られたシロップがスポンジ様のものでひたされ、これにモンシロチョウ、キチョウ、マダラの仲間、アゲハチョウの仲間が群がっており、また飛びかうチョウもあり逃げず近寄って来るのが印象的でした。



三和みどり館、蝶の国のチョウの群舞

この他、大地の館のニューカレドニア出展の熱帯魚や池田市の「Shade Garden Oasis Ikeda」も紹介したいのですが誌面の都合で省略します。

まだ、まだ、見落しのところもあるかと思いますが、会期も十分残っています。今度は取材ではなくゆっくり見て廻りたいものと考えています。皆様ももう一度お出かけになってはいかがですか？

(飼育課長代理：中川 哲男)

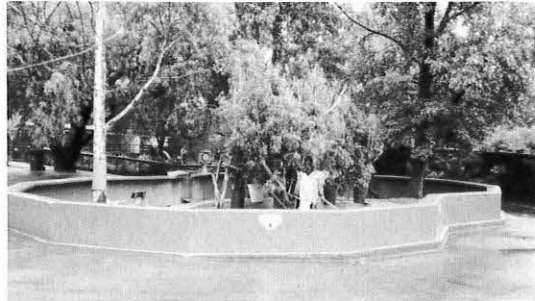
第2陣コアラ到着記

なぎごえ26(7),1990

§. はじめに

有袋類の多くの種類は、オーストラリア、その周辺の島々に生息しています。コアラ、カンガルー、タスマニアデビル、ウォンバットなど、その種類は170種類以上だといわれています。

その中のコアラ3頭がメルボルン動物園より第2陣として、天王寺動物園にやってきました。



メルボルン動物園のコアラ展示場

§. コアラの飼育

昨年の6月に第1陣のコアラがやってきて、まる一年がたったわけですが、毎日の観察、四季を通じてその行動、発情なども次第にわかってきました。

元来、コアラは木の上で生活しユーカリを食べたり、寝たりしてめったに地上におりてきません。動物園では何本かのコナラ、クスギを止り木として組み立て、それを自由に回れるようにしてありますが、好き勝手にあちこちの止り木で寝るのではなく、自分の気に入った木のまたやエサのユーカリの中で一日の大半を寝ていますが、おなかのすいたりするとゴソ、ゴソと動きだしたりすることもあります。又、野生下ではあまり地上をあるき回ることにはしません。それは、コアラの体が木の上で生活できる様に適合していることとコアラのエサであるユーカリの葉が木の上のほう

に十分あるから、あまり下に降りる必要性がないからです。しかし、好みのユーカリがなかったり別の木に移る方法がなかったり、発情期になると話しは別で地上を徘徊します。オスは発情期にはメスをさがすためにウロウロしはじめ、その時オスは胸から独特な匂いをだしその匂いをかいだメスは興奮して落ち着きなくなり、下におりたりぼたぼたしてエサを食べる量も減ってきます。コアラ誘致当初は採食量が減ると病気ではないかと心配しましたが、一年を通しての観察から色々なことがわかってきました。又、エサのユーカリを与えるのも一苦労です。



輸送コアラの捕獲収容作戦

がすためにウロウロしはじめ、その時オスは胸から独特な匂いをだしその匂いをかいだメスは興奮して落ち着きなくなり、下におりたりぼたぼたしてエサを食べる量も減ってきます。コアラ誘致当初は採食量が減ると病気ではないかと心配しましたが、一年を通しての観察から色々なことがわかってきました。又、エサのユーカリを与えるのも一苦労です。

ユーカリの種類は650種類以上だといわれ、その内でも40数種類しかたべません。動物園でも数多くのユーカリを植えて受け入れ準備をすすめてきました。食べ方も一本の枝で右側の葉はたべてもその反対側はたべなかったり、一年を通して同じ種類でも嗜好性の高い時期とそうでない時期がわかってきました。しかし、自分の好みにあった枝葉があると葉はもちろん茎まで“ポキ、ポキ”と音をだしながらおいしそうにたべてくれます。そのような姿をみていると世話をする私共も非常にうれしくなってきます。

§. 第2陣、受け入れ

新着第2陣コアラはオス1、メス2の3頭で、そのコアラをどこで飼うかが問題です。屋内展示室に



国際貨物専用便(モーモフライン)へのコアラ積込風景

は前からいるコアラが入っていますので、いきなりその中には入れられません。個体各々の性格があり、どの個体がどのような性格なのかを観察し把握しなければなりません。全く違う環境の場につれてきたので、新しい環境に順応させるため、約1ヶ月間は検疫も兼ね隔離室で、飼育することになりました。

隔離室はあまり広くはありませんが、コアラが落ちて生活できるように、最適止り木を兵庫県のユーカリ植栽地へ探しにいたり、それを組み立ててコアラの居心地のよい高さ、長さを調整したり、使用前に洗浄と消毒をして変なものを取り込まないようにしました。

その他にも一番大切なことはユーカリの供給計画です。3頭分のエサでしたら、今までどおりなのですが、新たに3頭がふえるので、単純な計算でも倍の量が必要となってくるのです。和歌山、兵庫、



動物園に到着した第2陣コアラ

鹿児島、沖縄、の4ヶ所に栽培していますが、(動物園内でも多少栽培している)むやみやたらに切り出していくと木を枯らしてしまったりします。桑木カットを行い収穫の増量を図ったり、その樹種の性

なぎごえ26(7),1990

質をよく知って植付や刈取りの時期を定めたり十分な研究と実践が必要です。こんなこともあってコアラ飼育担当者のみならずユーカリ担当者も結構苦労が多く息のつかない状態です。

§. コアラ到着

4月25日、待ちに待ったコアラ第2陣が牛を積んだ国際貨物専用便(モーモフライン)で大阪空港に到着しました。何故、牛と混載のモーモフラインにしたのか不思議に思われるかも知れませんが前回に比べ、輸送時間が極端に短いこと、積替えが少なく大阪へ直行すること、そして安いことから、これを選びました。



♂のエドワード

コアラはオス1頭、メス2頭です。コアラに付き添ってメルボルン動物園から女性の獣医師と有袋目のチーフキーパーもやってきました。彼らは輸送中と到着後の健康状態をチェックするためと我々に指導するのが目的で、来園中も作業中に色々話し合いながらコアラ飼育のノウハウについて指導をいただきました。又、動物園全体での技術交流会や一般入園者を対象にした講演会を開催し、大阪とメルボルンとの交流を深めました。

到着した3頭のコアラは1頭ずつ木箱の中に入れられ、中にはユーカリがぎっしり入っていて、その中に埋れる感じで入っていました。到着後すぐに用意された隔離室の前にオリをすえて扉をあけてやつ



♀のキリ

ても環境の変化や、長旅の疲れで仲々オリから外に出てこようとせず、じっとしたままです。そうこうしていると、メルボルンのスタッフがコアラに声をかけたり、やさしく接して約1時間ぐらいかけてやっとオリから外に出ました。

最初はいったいどこにつれてこられたのかな?といった感じで、ぼーとしていましたが、案外なんの抵抗もなく私達が用意したとまり木に登ってくれま

した。当初はどんなユーカリを食べるのかわからないので、メルボルンから持ってきたユーカリを与え、徐々に大阪のユーカリに切り替えました。はじめて当園のユーカリを与えた時は食べてくれるかなという不安がありましたが、与えてみると、最初においをかいでいましたが、思いのほかメルボルンのユーカリには目もくれず当園のユーカリをムシヤ、ムシヤと食べはじめ、あつという間に丸坊主にしてしまいました。心配することもなく3頭とも大阪のユーカリをよくたべてくれました。隔離室の間数の関係もあってメスは2頭一緒に飼育していますが、お互い何の闘争もなく同じとまり木にとまって体をよせあつたりして一緒に寝ている時もあります。これはメルボルンではメスは複数で飼育しているからです。コアラの観察については前回同様、今回も新着コアラの行動、性格を知るため24時間の観察を行ないました。これは1日の行動パターン、採食時間等を観察するもので、これによって、個体各々の性格や体調、パターンなどがわかります。

毎朝、隔離室に入り声をかけ、糞の状態をみて、エサの採食状況を見てその日与えるメニュー作りの参考にします。今のところは与えたユーカリをよく食べてくれますが、あまり食べすぎるとこんどは下痢をしなにか心配になってきます。コアラの場合



♀のミレーラ

は、ちょっとしたことで、採食量が減ったり、軟便になったり、たべなくなったりするので細心の注意が必要となります。今後も尚更慎重に飼育していかなければならないと考えています。

§. 終わりに

当園に来たコアラは3タイプのコアラのうちビクトリア・コアラに属するもので淡路ファームパークで飼育している種と同じものです。

今後、繁殖していく上でブリーディングローンなど血統の更新なども考えていかなければならないと思います。コアラが増えれば十分な量のユーカリを確保しなければならぬことは当然ですが、不測の事故や天災、病害虫でユーカリが不足する場合にはコアラ保有園相互で余剰のユーカリを譲り合うなど相互扶助体制の整備と協議が必要かと思われます。今後、コアラに関する情報交換、協議調整など十分に推進し、適正なコアラ飼育に努めたいと考えています。

※写真説明のコアラの愛称はオーストラリアでのものです。

(コアラチーム:土谷 正道)

§ 眠りの名手“コアラ”I

コアラを見に来た多くの人が、ユーカリの中にもぐって、寝ている姿しか見えないので、がっかりして帰って行かれるため、担当者としても何となく申しわけない気になることがよくあります。

まあ、ここでコアラに変わって少し言いわけをしたいと思います。「コアラは夜行性やから昼間は寝てるのよ。」と言う人がいますね。どうも人間と同じように考えないと気がすまないようですが、コアラにはコアラの事情があるようで、生活のリズムが24時間で繰り返されるのではなく、3～6時間位で“食べて寝て”を繰り返しているようです。だから昼はずっと寝ているわけではなく、ユーカリを食べたり地面を歩いたりすることもあるんですよ。とは言え、いつ見ても寝ているというのも事実であり、仕事の合間に展示場を見て、木に登ったりして姿を現わし、「まあかわいい。」とか言う声が聞こえたりすると何故かホッとしてみます。

(飼育課：早川 篤)



眠りの名手コアラちゃん

§ 眠りの名手“コアラ”II

左の話の続きというわけではありませんが、コアラはああ見えて結構やんちゃ坊主なのです。“コアラ＝寝てばかり”というイメージが一新すると思えますよ。

木にぶらさがってジャングルジムで遊ぶように前進したりバックしたり、大人が両手を上げた程の距離なら木から木へジャンプしたりとあの丸い体で実に俊敏に動きます。また地面に降りることもよくあり、展示場内を歩きまわったり、屋外運動場では、植えてあるユーカリに登り、風の強い日でも一番高い所で木が大きく揺れていても平気でユーカリを食べたりします。よくまあバランスがとれるものだと感心しますが、寝てる姿はそれ以上で、細い枝の所で手足で木をつかむこともなくコックリコックリと気持ちよさそうに寝てるのを見ると、さすがにいつも寝ているだけあって“名人の域”に達した見事なものだなと思います。

(飼育課：早川 篤)

動物園ニュース

§ 鳥たちのふ化たけなわ

キジ類は、人工ふ化により次々とふ化しています。セイランが4月26日、27日に各1羽、コサンケイが5月12日に1羽、ニジキジが5月17日、23日にそれぞれ1羽と2羽ふ化しています。自然ふ化では、コサンケイが5月13日に1羽ふ化しており、親鳥がかわいいヒナをつれている姿を見ることができます。このヒナが順調に育てば、日本の動物園では初めてのことと思われま



順調に育つシュバシコウのヒナ

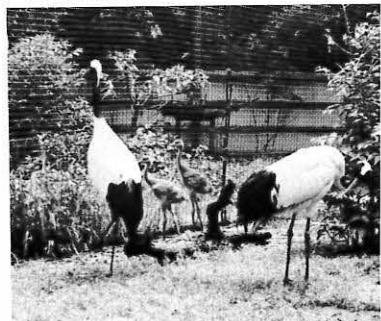
“鳥の楽園”では、毎年順調に繁殖しているシュバシコウが4月27日に1羽のヒナが確認されたのを皮切りに、5月29日現在5つの巣

でヒナが元気に育ちつつあります。また、ウミネコは4月28日に1羽ふ化し、別のペアが5月11日と12日に各1羽ずつふ化させています。

小鳥の家では、5月13日と15日にコウカンチョウが1羽ずつふ化し、ペンギン舎では、フンボルトペンギンが5月21日に1羽ふ化しそれぞれ順調に成育中です。

§ タンチョウのヒナ誕生

コウノトリ舎で4月の2日、5日に産卵されたタンチョウの卵2卵は、両親交互の抱卵によって、それぞれ5月の4日と6日に無事ふ化しました。生後27日と29日のタンチョウのヒナたち



生後27日と29日のタンチョウのヒナたち

動物園ニュース

この両親は、一昨年、昨年に続く3回目の繁殖です。父親は昭和57年に当園で生まれた個体で、母親は昭和57年に京都市動物園で生まれ、昭和58年から繁殖のためにお借りしている個体です。

ヒナは生まれてまもなく歩き出しますが、エサは両親が面倒見よくくちばしで嘴渡しをして与えます。1週間もすれば自分でエサをついばむようになり、その後の成長も目を見はるものがあります。

現在、ヒナは順調に成育中で、冬までには両親とほとんどかわらない大きさになっているでしょう。

§ 野鳥展の開催

5月10日から1週間は愛鳥週間ですが、当園でもそれに因み、「野鳥展」を5月10日から31日まで、展示館で開催しました。今回で15回目を

むかえたこの野鳥展は、野鳥に関する知識と理解を深めていただき、野鳥の保護と愛鳥思想の普及啓蒙を図る

ために、大阪府と毎年共催で行っているものです。

展示内容は、野鳥の写真パネルや観察記録、剥製および平成2年度愛鳥週間ポスター入選作品の展示を主体に、野鳥の記録ビデオも放映しました。

§ シシオザル来園

5月24日、アメリカ合衆国のワシントン動物園からシシオザルのメス1頭が来園しました。シシオザルはインド南部・西ガーツ山の常緑樹林地帯という狭い地域にのみ生息し、森林破壊などの原因により、野生では2,000頭程しか生息していないものと推定され絶滅が心配されています。世界の動物園では400頭余りが飼育されていますが、日本では8ヶ所28頭しか飼育されていません。また日本のシシオザルは高齢のものが多く、現在繁殖しているのは2ペアにすぎません。そこで、今回、アメリカの国際血統登録者に、新しいシシオザルの導入を依頼したところ、ワシントン動物園より無償でおゆずりいただくことができました。続いてセントルイス動物園からオスとメス各1頭が来園する予定です。



ワシントン動物園からやって来たシシオザルのメス



野鳥展のポスターとパネル



第2陣新着コアラのオス

平成2年度のコアラキャンペーンが5月25日から一ヵ月にわたり開催されました。内容はスタンプラリー、コアラのぬいぐるみと記念撮影で、この期間中に、新しく来園したコアラの名前が募集されました。

◎ お知らせ

- 動物のお話とスライドの会
7月15日(日) アシカのお話
8月19日(日) ゾウのワンポイント
9月16日(日) 今年生まれの赤ちゃんのお話
時間：午後1時～2時
場所：レクチャールーム

◎ テレフォンサービス実施中

催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を、24時間テレフォンサービスで行っていますので、ぜひご利用ください。
電話番号 771-9999

* 休園日のお知らせ *
動物園の休園日は毎週月曜日(休日の場合は翌日)です。
開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時まで入園できます。

Table with 4 columns: Category, Count, Species, Total. Title: 現在の飼育動物数 (平成2年5月31日現在)

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

暮らしといかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価580円

むし暮らしと いかた

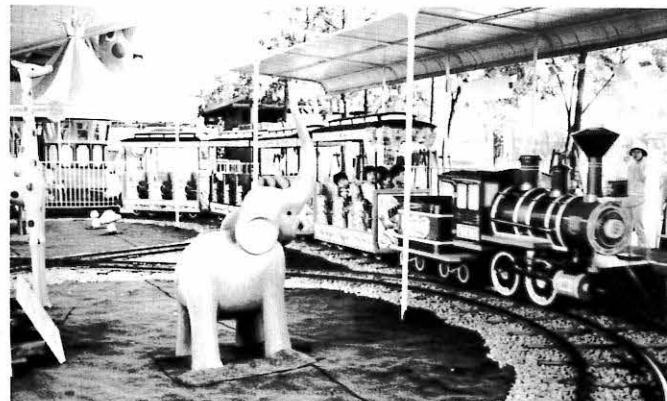
野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきもの暮らしと いかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

たのしいのりものが待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

オートフォーカスカメラに

フジカラー SUPER HG 400



ピントが合いやすいフィルムです

カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

全国の愛犬家の共感を呼ぶ無比の愛犬歌集

絶賛四版

歌集 犬の歌

平岩米吉著

著者が、約四十年の間に、共に暮らした七十余頭の犬の生と死
を歌った四百十九首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る
写真四十七図を収めた、犬の一生の生態写真集でもある。

天金・美装箱入
B6判・270頁
3000円・〒不要

《感動の言葉》

- ☆この歌は愛犬と異体同心の境地である。(英文学者)
- ☆人として注ぎ得る愛情の極致を示している。(動物研究家)
- ☆一首ごとに、ことごとく魂にひびく歌です。(動物愛護家)

●本書は、書店ではお買い
求めになれません。
直接当会へお申し込みく
ださい。

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 動物文学会 電話(03)717-1659/振替・東京5-9800

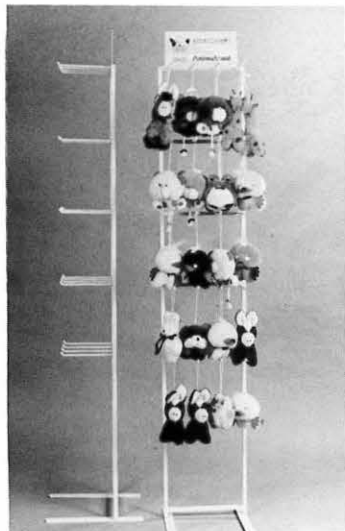
コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800 (50度用)



- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対 象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸 出 料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申 込 先/当協会まで、電話かハガキで
お申し込み下さい。

大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

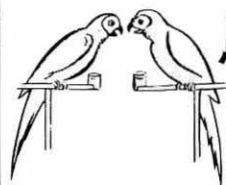


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

——各種ぬいぐるみ企画・製造・卸——

有限会社 **アニメランド**

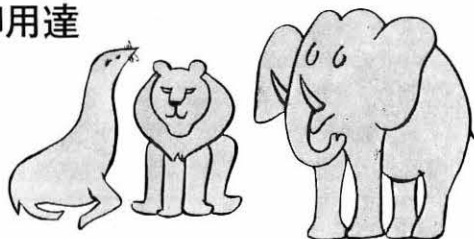
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL : (06) 704-8580
FAX : (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

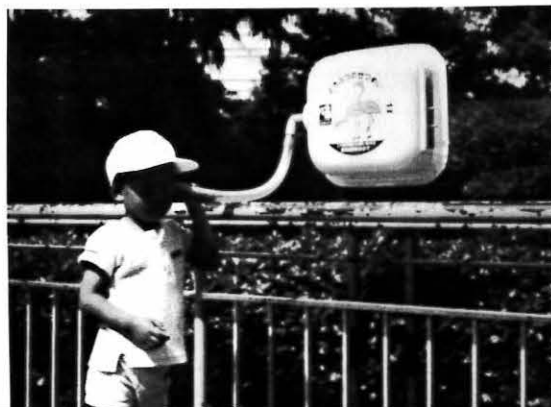


有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヶ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

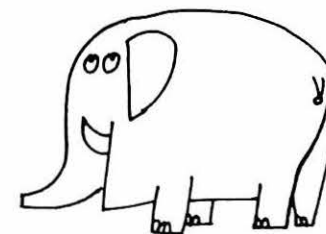
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



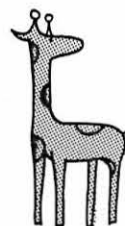
天王寺動物園内



南園売店

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は…
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願い致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444



雪印乳業

唯ちゃんも、
とってもゼリーも、
ますます成長しました。



浅香 唯

フルーツゼリー とってもゼリー



野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設

お申込み、お問い合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。



●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 1990年7月10日発行(毎月10日発行) 第26巻 第7号 (通巻299号)

編集/大阪市天王寺動物園
発行人/大阪市天王寺動物園協会 橋本一郎
印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 大阪 (06) 771-0201
振替口座 大阪 3-37823

編集委員

(伊東重朗/大西史朗/藤野勝吉/中山良三郎/中川哲男/吉本昌俊/奥上 昇/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭)
森本委利/竹田正人/大野尊信/野口秀高/早川 篤/赤松 建/中垣圭史/大川光雄/山下賢二/土谷正道)